



ま とく れい こう 磨徳励行

自ら考え
進んで行動し
学び続ける
『キラリと光る励徳っ子』



第 10 号
R5.6.16発行
文責 永田 功臣

食育月間 ~食について考えよう 6月

給食の献立を見ると「6月は食育月間」とあります。梅雨空で湿度の高い日が続いています。寒暖差等で十分な睡眠がとれていないのか、児童も職員も少々疲れ気味ようです。体調を整えるいい機会なので、献立表の下にある『家庭で取り組みたい食育』についてお子様と考えてみてはいかがでしょうか。

その項目の中で、学校生活と関連するものを挙げてみました。「体を動かす機会をつくる」に関しては、雨のため運動場をなかなか使用できませんが、運動場が乾いた時に**スポーツテストの残り**を実施しました。ボール投げ、50m走に子どもたちは一生懸命取り組んでいました。ボールを投げる経験が少ないのかボール投げには苦戦していました。また、「さまざまな味を経験させる」では、2年生が学校で採れた梅を使って、**梅サワーを作りました**。飲んでみると梅の酸味と炭酸でさわやかな気分になりました。3・4年生は、これから**梅干し作り**に取り組みます。さらに、「農業を体験する機会をつくる」では、先日1・2年生が**さつま芋の苗植え**を行った他、月末には**田植え**を全校児童で行う予定です。農作物を栽培する体験の他、様々な体験を通して食に対する感謝の気持ちを持ってほしいと思います。



中央小と英語で交流

14日(水)に5年生が英語の時間に中央小学校の5年生とオンラインで交流しました。**英語で自己紹介**し合うという内容でしたが、本校の5年生1人に対して中央小は4~5人のグループがオンラインでつながっていました。本校はイヤホンをつけていたので内容が聞き取れない上、一斉にスタートしたので、あっという間にお互いの自己紹介が終わってしまいました。

課題はありますが、これをきっかけに交流を少しずつ深めていきます。



☆はらから☆

「れいとーく」を意識してくれていることをうれしく思います。砥用中卒業生が、高校で職員室に入る時「先生方おはようございます」と言って褒められたという話がありました。**ちょっとした言葉や気持ちが、相手の心に響きます**。ぜひ、みんなで「れいとーく」を広めていきましょう。

~キラリと光るために~

「キラリと光る自分」
五年 増永 初華
「れいとーくをする時
「キラリと光る」ために
ふだんから「おはよう」の後に
何か言葉をつけることを
がんばる



とくとく算数

今年もお世話になります

毎月1回第2火曜日に丸付けボランティアの方々に来ていただいて、算数の計算問題を解く取組を行っています。



今年度も13日に対面式を行って「とくとく算数」が始まりました。丸付けボランティアの方々はそのとおりです。「とくとく算数」は**計算力アップ**だけでなく、**地域の方々との交流やコミュニケーション能力向上**をねらっています。どうぞよろしくお願いいたします。

- 渡邊 征喜 さん
- 藤田 富子 さん
- 山崎扶美乃 さん
- 上田美恵子 さん
- 田村 陽子 さん
- 田村 雄樹 さん
- 西村 智子 さん
- 高田美千子 さん

もっとサイエンス

スポーツテストがありました。ボール投げでは、「なるべく斜め上に投げたほうが飛ぶ」とアドバイスしましたが、その方がなぜ飛ぶのか考えたことがありますか。



上に投げ上げるほど、ボールが落ちてくるのに時間がかかります。その間に横方向にボールが進むことになります。ただ、真上に投げ上げると横には進みません。上と横との力の加減が大切なようですね。

ちなみに走っている車の中で、ボールを真上に投げ上げると手元にもどってきます。どうしてでしょう？